



fax 03-3595-6920 email t-hatsu@tokyo-np.co.jp

復興事業で建設された多くの橋がかかる隅田川。手前は永代橋、右奥は東京スカイツリー＝本社へリ「わかづる」から(坪真一撮影)



帝都復興事業 東京市長退任後、内務大臣を務めていた後藤新平が総裁に就任した帝都復興院による計画をベースに、防災を重視した街づくりが進められた。焼失した市街地の9割が区画整理され、昭和通り、大正通り(現・靖国通り)などの幹線道路や425の橋、隅田公園などの大規模公園、117の復興小学校、復興小に付設した52の小公園、築地市場などが大正末期から昭和初期にかけて建設され、現在の東京の都市インフラの基礎となった。

日(年)キリストはパンはわが体なりといわれた。食物を挿んで舌運来。(松尾周志)



いは のきいーを ーとて角ーむ ーの らー ーがて

強さの秘密は、最も

復興小は、震災を教訓に、子どもたちの安全確保に加えて住民の防災拠点となることを目指し、当時では珍しい鉄筋コンクリートで、都内に計百十七校が建てられた。現在残る十六校(八校は他の施設に転用)の復興小は、いずれも目立った被害はなかった。

# 復興建築に学べ

## 見つめ直す 首都

千代田区	上六小(現・九段小)
中央区	明正小 阪本小 十思小(現・十思スクエア) 箱崎小(現・水天宮ビッド) 京橋昭和小(現・城東小) 京華小(現・京華スクエア) 常盤小 泰明小
港区	愛宕高等小(空き校舎)
台東区	柳北小(現・リセ・フランコ・ジャポネド・東京柳北校) 小島小(現・台東デザイン・スペースビレッジ) 下谷小(空き校舎) 待乳山小(現・東浅草小) 黒門小
文京区	元町小(空き校舎)
中央・江東区	永代橋 清洲橋
中央・墨田区	両国橋
台東・墨田区	蔵前橋 鷹橋 駒形橋 吾妻橋 盲問橋
中央区	中央卸売市場築地市場

市場  
コンクリートと並に広いスペースが確保

近、明らかにされつつある。一級建築士らでつくる「復興小学校研究会」が、復興小に準じた設計方針で同時期に建てられた港区立高輪台小(三五年完成)を調べたところ、表面に塗られた厚さ一・五センチの鉄骨が保護層となり、コンクリートが劣化から守っていたことが分かった。アーチ形の窓も耐震効果がある。東京電機大の今川憲英教授(構造デザイン)は「四角い窓に比べ、縦揺れ、横揺れとも建物にかかる力を二割減らす効果があっ

# 築80年地震にびくともせず

### 小学校

び、二十世紀の都市風景を作り出してきた「鉄」による国内最初

東京都内には、関東大震災後の帝都復興事業で建てられた学校や公共施設、橋などが今も残る。いずれも築80年前後の古い建築物だが、東日本大震災による震度5強の地震でも、びくともしなかった。当時の最新の技術が結集された「復興建築」群から、学ぶべきことは。(井上圭子、岡村淳司)



台東区立黒門小の耐震性とデザイン性を兼ね備えたアーチ形の窓と廊下の梁(はり)頑丈な鉄骨構造の築地市場。いずれも鳴邦夫撮影

# 美観と耐震性両立 / 高度な鉄骨利用技術

美観と耐震性両立。作業のしやすさと耐震性を両立させたのが、頑強な鉄骨構造だ。見上げる隅田川は「橋の博物館」とも呼ばれている。東京市が発行した「築地本場・建築図集」によると、築地市場には鉄骨・鉄筋用鋼材が計一万二千トン、ほとんどが焼けたり壊使用された。当時、鋼材は鉄道や軍備関係に部であったが、単調なデザインが多用された。新しい橋は復興のシンボルとなることが期待された。第一次世を描かせ、美術家や文界大戦後の世界的不況学者、建築家らに批評の影響や都市への人口させたうえで設計する集中で、東京は震災前など、現代のコンペのからモノ不足が社会問題となった。完成した橋は水辺の生活改善のため、大の景観を大きく変え規模な市場の整備は重た。要課題だった。それを豪快なアーチを描く実現したのが、高度な鉄骨利用の技術だった。清洲橋は、国の重文に指定された。都は、保教授(建築史)は歴史あるこれら八本の「築地市場は戦前の鉄骨の「長寿化計画」を骨構造物の到達点。多進め、百一二十年使用の予算と先端技術を続けることを目指して投じており、建築史的な価値をもっと評価すべきだ」と指摘する。「耐震性はもちろん、海外の研究者からも注目を浴び、美観にも細心の注意を払った先人の取り組み技術に関する国際学術会議の会場にもなった。大切に守っていきたい」と話している。

### 橋

### 運勢

27日(先負)  
ね年 威張れば人が嫌つ、飾れば心が疲れる。淡々たるべし。うし年 年を一つずつとりて老人になる。天地自然の恩恵にて老人となる。とら年 道は万物の始めであり善悪の根本となる。う年 鶏の口となつても牛の尻となる。大勢力の下敷きとなる。う年 たつ年 含羞者(はくしう)はよく喋る。好喋者に注意すべし。み年 塩と米ぬかにより大根はたくあんとなる。凡夫は法に遇わぬと仏にならぬ。うま年 出会って挨拶のできない人と交わらぬように注意せよ。ひつじ年 いかなる罵りもいかなる称赞にも動揺せず前進して開運する。人間は孤独であるが又共に生きるものである。とら年 大鳥より小鳥といふ。小さくとも確かなものを狙って吉い。うま年 歌や詩の心の深さをよく知る人は語るに足る人。芸能(げいねい)に長き日(年)キリストはパンはわが体なりといわれた。食物を挿んで舌運来。(松尾周志)